

男性看護師のキャリア志向に関する 認識と実際その1

—男性看護師の年代別での比較—

第34回日本看護科学学会学術集会発表

全国男性看護師会 無断使用禁止

背景・目的

男性看護師は増加傾向にあり、様々な分野や領域で活躍している。

男性看護師

- 入職後早期に離職する
- 将来への不安を抱いている
- 将来像が考えられない
- やりがいを感じない

- キャリアアップを考える
- 将来像を明確化する
- 看護師としての夢や希望を実現するために邁進する

年代によりキャリア志向に関して違いはあるのか？

男性看護師のキャリア志向に関する認識と実際について年代別での特徴や違いを明らかにする。

方法

対象

全国の150床以上の病院で、複数（2診療科以上）の診療科を有する1,150施設の内、本研究に協力の得られた544施設に勤務する男性看護師（准看護師を含む）8,539名。

調査方法

平成24年12月～平成25年4月に無記名の選択式一部記述式の自記式質問紙調査を実施し回収は、回答者本人による郵送法とした。

分析方法

対象者の年代を20歳代、30歳代、40歳代、50歳代以上の4群に分け、各項目の無回答を除き、 χ^2 検定と残差分析または一元配置分散分析と多重比較を実施した。有意水準は0.05%以下とした。

倫理的配慮

研究代表者が所属する施設の倫理審査会の承認を得て実施した。

回答者の背景

回答者

全体で3,713名(回収率43.5%)

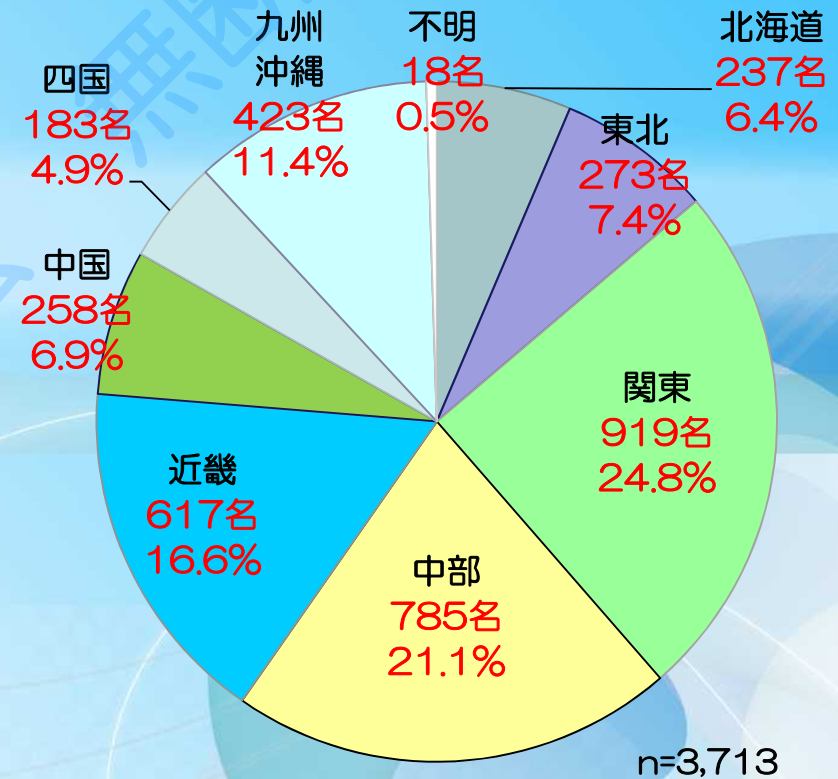
回答者の背景

平均年齢 33.2 ± 7.8 歳、
平均臨床看護経験年数 9.54 ± 7.4
年目

配属先

最多、内科系病棟543名(14.6%)
次いで、混合病棟542名(14.6%)

回答者の勤務施設の所在地



看護職関連を含む学校への進学希望の有無

	年代				合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	
今後、進学希望が「ある」 (人)	336	372	68	11	787
年代群の%	25.1%	22.5%	14.3%	6.7%	21.7%
調整済み残差	3.8**	1.1	-4.2**	-4.8**	
今後、進学希望が「ない」 (人)	1,004	1,280	407	153	2,844
年代群の%	74.9%	77.5%	85.7%	93.3%	78.3%
調整済み残差	-3.8**	-1.1	4.2**	4.8**	
合計 (人)	1,340	1,652	475	164	3,631

**p<0.01

将来的に目指そうと考えている看護職関連の職種 (CNSなど)の有無

	年代				合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	
将来的に目指す 看護職関連職種 が「ある」 (人)	709	784	144	23	1,660
年代群の%	53.3%	47.4%	30.4%	13.9%	45.8%
調整済み残差	6.9**	1.8	-7.2**	-8.4**	
将来的に目指す 看護職関連職種 が「ない」 (人)	622	870	329	142	1,963
年代群の%	46.7%	52.6%	69.6%	86.1%	54.2%
調整済み残差	-6.9**	-1.8	7.2**	8.4**	
合計 (人)	1,331	1,654	473	165	3,623

**p<0.01

看護師という職業へのやりがいの程度

年代			
年代	n	m (SD) 感じている5点 感じていない1点	多重比較 Games-Howell
20歳代	1,349	3.97 ± 0.98	年代別での有意差なし
30歳代	1,667	3.98 ± 0.98	
40歳代	484	3.96 ± 0.99	
50歳代以上	168	3.93 ± 1.07	
合計 (人)	3,668	3.97 ± 0.98	

離職を考えたことの有無

	年代				合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	
離職を考えたことが「ある」 (人)	634	773	245	86	1,738
年代群の%	47.1%	46.5%	51.4%	51.5%	47.6%
調整済み残差	-0.4	-1.2	1.8	1.0	
離職を考えたことが「ない」 (人)	713	891	232	81	1,917
年代群の%	52.9%	53.5%	48.6%	48.5%	52.4%
調整済み残差	0.4	1.2	-1.8	-1.0	
合計 (人)	1,347	1,664	477	167	3,655

看護職継続におけるモデルや目標とする男性看護師の必要性

年代			
年代	n	m (SD) 必要だと思う5点 思わない1点	多重比較 Games-Howell
20歳代	1,356	4.23 ± 1.06	<p>***</p> <p>***</p>
30歳代	1,676	4.03 ± 1.18	
40歳代	486	3.96 ± 1.15	
50歳代以上	171	4.00 ± 1.13	
合計 (人)	3,689	4.09 ± 1.13	

***p<0.001

身近にモデルとなる男性看護師の有無

	年代				合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	
身近にモデルが「いる」 (人)	653	663	127	30	1,473
年代群の%	48.2%	39.6%	26.1%	17.5%	40.0%
調整済み残差	7.8**	-0.4	-6.7**	-6.1**	
身近にモデルが「いない」 (人)	701	1,010	360	141	2,212
年代群の%	51.8%	60.4%	73.9%	82.5%	60.0%
調整済み残差	-7.8**	0.4	6.7**	6.1**	
合計 (人)	1,354	1,673	487	171	3,685

**p<0.01

まとめ

- 進学希望およびは、将来的に目指そうと考えている看護職関連の職種が「ある」者の割合は、**20歳代が有意に多く、40歳代以上は有意に少ない**ことから、20歳代へのキャリア支援の充実が必要である。
- 離職を考えたことが「ある」者の割合は、50歳代以上、40歳代の順で多いが、年代別間で差はない。
- モデルや目標とする男性看護師を必要と思う程度と実際に「いる」割合は、**20歳代が有意に多く、必要性が実際が一致している。**



20歳代へのキャリア支援を充実させ、さらに20歳代のモデルとなるようなネットワークの確立および、40歳代以上の離職を考えた理由を共有できるようなコミュニティの構築が必要である。